

令和2年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	廃棄物処理施設周辺整備事業	会計	款	項	目	多額経費
		一般	4	2	1	○
政策	21人と自然にやさしい地域社会をつくります	担当課室	クリーン推進課			
施策	211環境保全の促進	担当課室長	中川 聡			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	廃棄物処理施設周辺整備計画に基づき、構成市として組合に協力する。	③令和2年度に取り組む改革・改善内容	廃棄物処理施設周辺整備実施計画に基づき、構成市として組合に協力する。また、地元自治会との協定に基づき市道整備する柏市に対し負担金を支出する。
②①に基づく取り組み結果	廃棄物処理施設周辺整備実施計画に係る協議を構成市及び組合と行った。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	①廃棄物処理施設の周辺地域 ②柏・白井・鎌ヶ谷環境衛生組合	意図(対象をどうするのか)	廃棄物処理施設周辺環境を確保する。
②事務事業の概要	柏・白井・鎌ヶ谷環境衛生組合が実施する廃棄物処理施設周辺整備事業に係る負担金を支払う。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	廃棄物処理施設が立地する地域の環境向上に向けた取り組みである周辺整備事業は、これまで進捗が遅れてきた経緯があるため、柏・白井・鎌ヶ谷環境衛生組合の新たな廃棄物処理施設周辺整備基本計画については、着実に実行していくことが求められている。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①令和元年度の事業の成果	柏・白井・鎌ヶ谷環境衛生組合が行う廃棄物処理施設周辺整備事業に対する負担金を支出した。				
②成果を表す指標	指標名称	平成29年度	平成30年度	令和元年度	算定根拠
	i しらさぎごみ搬入量	30,417	30,292	31,062	t 業務取得
	ii し尿浄化槽汚泥搬入量	18,941	18,694	19,753	t 業務取得
iii					
③事務事業のコスト	平成30年度決算	令和元年度決算	令和元年度決算(事業費)の主な内訳		令和2年度予算
事業費(千円)	3,792	11,272	金額(千円)	内容	31,806
国支出金(千円)			11,272	周辺整備事業費	
県支出金(千円)					
市債その他(千円)		5,000			20,200
一般財源(千円)	3,792	6,272			11,606

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	事業の進捗にあたっては、実施計画に基づく着実な進捗が求められているため年度間の調整が必要となる。				
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価 6精査・検証
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い	
③上記評価の理由	補助制度の活用など、効率的な実施を検討していく必要がある。				

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①令和元年度の計画	負担金	令和元年度事業費の状況(単位:千円)						
		計画事業費	予算額		決算額			
②計画に対する事業実績	負担金	33,822	33,822	当初	33,822	H30からの繰越	0	
				H30⇒R1繰越	0			
③達成状況	完了			補正	0	11,272	現年分	11,272
				流用・充当	0			
④未完了・非着手の理由		令和2年度への繰越額(単位:千円)					22,550	

令和2年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	生活排水対策に要する経費	会計	款	項	目	多額 経費
		一般	4	1	3	
政策	21人と自然にやさしい地域社会をつくります	担当課室	環境課			
施策	211環境保全の促進	担当課室長	市村 昌子			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	水質浄化の啓発活動に係るイベントを開催し、さらなる水質改善を図る。	③令和2年度に取り組む改革・改善内容	水質改善を図るため、水質調査や水質浄化の啓発活動を行う。
②①に基づく取り組み結果	生活排水浄化対策の取り組み、啓発活動を実施した結果、手賀沼、印旛沼の水質は、ほぼ横ばいで推移している。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	市内主要河川(6河川):大津川、金山落、井草水路、中沢川、二和川、大柏川	意図(対象をどうするのか)	河川水質の監視
②事務事業の概要	水質を保全するため、水質調査や浄化対策を行う。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	本市は手賀沼、印旛沼、真間川流域の最上流部にあたり、水質汚濁の防止に取り組む必要がある。大津川、井草水路においては、若干水質の改善がみられるが、さらなる水質改善を目指し、鎌ヶ谷市生活排水推進計画に基づき、施設整備及び水質汚濁の防止を啓発するとともに、公共用水域の水質監視体制に取り組んでいく。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①令和元年度の事業の成果	市内公共用水域水質検査結果						
②成果を表す指標	指標名称		平成29年度	平成30年度	令和元年度	単位	算定根拠
	i	大津川BOD値	7.0	7.5	5.3	mg/l	
	ii	井草水路BOD値	10.9	10.1	5.7	mg/l	
	iii	真間川水域BOD値	8.6	7.8	8.9	mg/l	
③事務事業のコスト	平成30年度決算	令和元年度決算	令和元年度決算(事業費)の主な内訳			令和2年度予算	
事業費(千円)	2,499	2,378	金額(千円)	内容		2,511	
国支出金(千円)			1,354	公共用水域・家庭雑排水共同処理施設水質調査手数料			
県支出金(千円)			579	家庭雑排水共同処理施設保守点検委託			
市債その他(千円)							
一般財源(千円)	2,499	2,378				2,511	

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	更なる水質改善を図っていく必要がある。				
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価 6精査・検証
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い	
③上記評価の理由	手賀沼・印旛沼・真間川流域の最上流部に位置しているため、水質調査の継続実施・監視に取り組む必要がある。				

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①令和元年度の計画	令和元年度事業費の状況(単位:千円)				
	計画事業費	予算額		決算額	
②計画に対する事業実績	0	当初		0	H30からの繰越
		H30⇒R1繰越			
③達成状況		補正			現年分
④未完了・非着手の理由	流用・充当				
	令和2年度への繰越額(単位:千円)				

令和2年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	大気汚染・騒音・振動防止対策に要する経費	会計	款	項	目	多額経費
		一般	4	1	3	
政策	21人と自然にやさしい地域社会をつくります	担当課室	環境課			
施策	211環境保全の促進	担当課室長	市村 昌子			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	大気汚染、騒音、振動被害を軽減するため、指導及び監視活動を行う。	③令和2年度に取組む改革・改善内容	引き続き、下総航空基地の騒音実態調査や主要幹線道路の自動車騒音監視業務を実施する。
②①に基づく取組み結果	ホームページへの掲載及び窓口対応等で周知を行い、市民生活の安全・安心を図り、生活環境保全についての理解を得る。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	各世帯	意図(対象をどうするのか)	市民が静穏で快適な生活を送れるようにする。
②事務事業の概要	国が示す環境基準に達しているか、毎年下総航空基地や自動車騒音常時監視業務測定等を実施し、大気・騒音・振動等に係る評価・指導・改善要求を行う。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	関係法令により事業が定められており、環境基準や規制基準が制定当時に比べると、各種公害を取り巻く環境や住民意識も変化している。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①令和元年度の事業の成果	環境の概況(別添・抜粋・速報値)						
②成果を表す指標	指標名称	平成29年度	平成30年度	令和元年度	単位	算定根拠	
	i	相談件数	107	109	100	件	
	ii						
	iii						
③事務事業のコスト	平成30年度決算	令和元年度決算	令和元年度決算(事業費)の主な内訳		令和2年度予算		
事業費(千円)	2,090	2,551	金額(千円)	内容	2,910		
国支出金(千円)			1,474	航空機騒音実態調査業務委託			
県支出金(千円)			638	自動車騒音・面的評価業務委託			
市債その他(千円)							
一般財源(千円)	2,090	2,551			2,910		

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	測定結果の活用方法について検討する必要がある。				
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価 6精査・検証
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い	
③上記評価の理由	法令等により市に義務付けられた業務であるため、下総航空基地や主要幹線道路による公害状況を今後も長期にわたって測定結果を注視していく必要がある。				

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①令和元年度の計画	令和元年度事業費の状況(単位:千円)				
	計画事業費	予算額		決算額	
②計画に対する事業実績	0	当初		0	H30からの繰越
		H30⇒R1繰越			
③達成状況		補正			現年分
④未完了・非着手の理由	令和2年度への繰越額(単位:千円)				